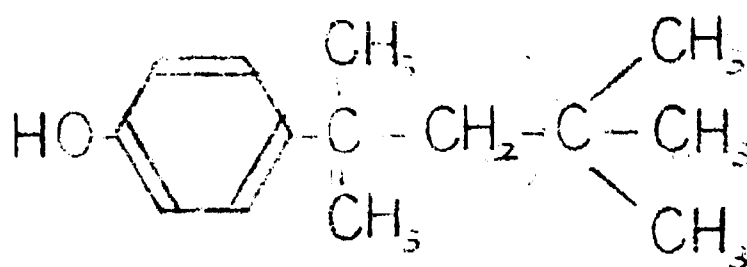


パラオクチルフェノールの分解度試験成績報告書

- 1 試験期間 昭和51年8月5日～昭和51年12月1日
- 2 試料名 パラオクチルフェノール(試料No K-247)
- 分子式 $C_{14}H_{22}O$
- 構造式



性状 融点 $80.5 \sim 81.5^\circ C$
沸点 $276.0^\circ C$
純度 $94.0 \sim 95.0\%$ (他は異性体のオクチルフェノール)
溶解性 水に不溶 (提示資料による)

3. 試験方法及び条件

環保業第5号
薬発第615号
49基局第392号

微生物等による化学物質の分解度試験による

3.1 試験装置

酸素消費量自動測定機

3.2 酸素消費量測定

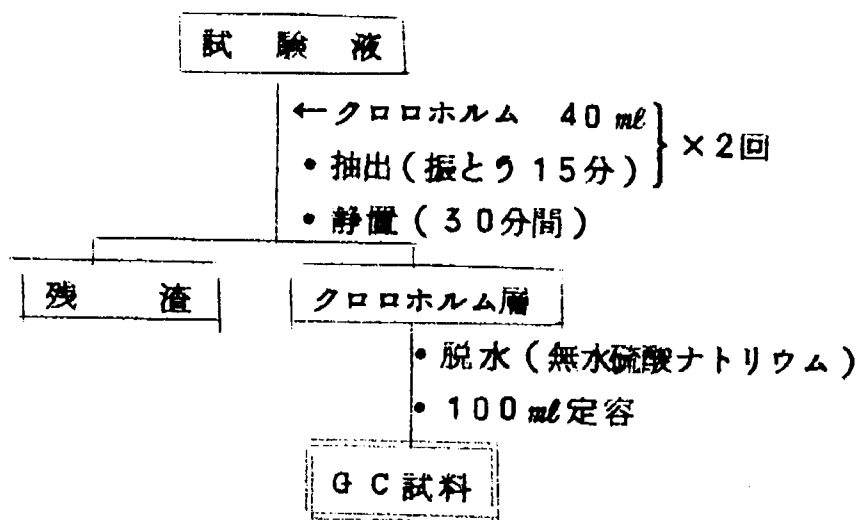
3.1の記録による

3.3 生分解試験後の直接定量法

(a) 使用分析機器

ガスクロマトグラフ 検出器 FID

(b) 分析試料の前処理



(c) 分析条件

ガスクロマトグラフ (GC) 検出器 FID

キャリアガス N_2

充てん剤 5% DEGS + 1% H_3PO_4 / セライト 545

ガラスカラム 2 mm ϕ × 1 m

カラム温度 148 $^{\circ}C$

4. 試験結果

	分解度 (%)	付 図	付 表
酸素消費量による結果	0	1	—
GC による結果	※(—)	2	1

※ 負の値を得たので(—)とした。

5. 備 考

供試物質はクーロメーター仕込時は液面に浮かんでいたが、
14日後の取出し時は水系、汚泥系共に液中に分散していた。

以 上